

月刊

食品工場長

12

DECEMBER

食品の生産拠点を支援する情報誌

2017

No.248

トップ
インタビュー
TOP
INTERVIEW



イオンモール川口前川店

日本KFCホールディングス(株)

代表取締役社長

近藤 正樹 氏

清掃・洗浄・殺菌の

特集

PDCAサイクルを回す

ルポ&インタビュー エスピー食品(株) 上田工場

新工場紹介 (株)ナリコマフード 関東セントラルキッチン

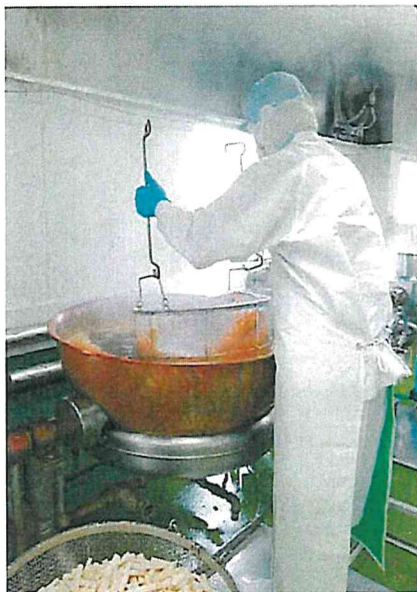
会社概要

所在地：大阪市生野区林寺 6-3-10
 設立：1954年
 事業内容：惣菜・おせちの製造
 従業員：42人

(株)大つる

若手が中心となり7S活動を推進 清掃の頻度を上げ、見せる工場に

青果中心の食材卸・小売を手掛ける(株)大つるのグループ会社で、惣菜やおせちを製造する(株)大つる。2014年から食品衛生7S活動に着手し、朝活・昼活・週活として毎日あるいは毎週5~15分間の清掃を実施することで衛生レベルが向上。若手従業員の成長や取引先の信頼につながっている。



熱伝導率が良く、うま味や色つやが増す銅釜7基を使い炊き上げる

だしにこだわり作り上げた彩り豊かなおせち



常務取締役
島路 幸宏 氏
 Yukihiro Shimaji



専務取締役
澤井 妙子 氏
 Taeko Sawai

7S活動を始めて 1年後の事例発表会で優勝

2009年に(株)大つるのグループ会社となった大つるは、60年以上前の創業時から銅釜を使い、だしにこだわった惣菜やおせちを製造。量販店や生協、老舗日本料理店などに販売してきた。

「取引先は大手の企業さまがほとんどで、全国流通の商品を手掛けるという責任もあり、衛生管理に関しては特に力を入れて取り組んできました」と専務取締役の澤井妙子氏。食品衛生7S活動を始めたのも、HACCPをベースにした高いレベルの衛生管理が要求されるようになったことが背景にあった。

ちょうどそのころ、運送会社で配送センターの運営に長年携わってきた島路幸宏氏が常務取締役として入社。社内文書の電子化や品質管理の強化を進める一方、外部からの情報を積極的に入手しようと、食品衛生7S活動を提唱するNPO法人食品安全ネットワークに参加した。

「14年に若手6人を連れて食品衛生7S事例発表会に参加したところ、自分たちにもできるのではないかと、ぜひやってみたいという声が上がりました。翌年の発表会で1年間の活動成果を発表する機会

を与えていただき、優勝までしてしまいました」

島路常務はこの優勝をビッグニュースと謙遜するが、稼働から30年が過ぎた工場では大改革が断行された。

「ドクターイエロー」と称し 改善箇所を黄色に統一

まずは整理・整頓からスタート。不要なものを工場からなくすことに取り組み、1年で3日しか使わない全長5mの大型機械も処分した。

整理・整頓し定位置管理を行うに当たっては、全ての設備に管理担当者を決め名前を明示。しかも、TVDラマの「ドクターX」にちなみ「ドクターイエロー」と称し、改善した箇所を黄色のラベルを貼るなどして黄色に統一。皆が取り組んだ証しを見える化した。工場の変化が確実に分かり、達成感も味わえることにより、短時間に成果を上げることができた。

島路常務はこれらの仕掛けをするのはあくまでもアドバイザー役に徹し、会社の方針でもある自律型社員を育てるべく7Sメンバーに運営を任せました。7Sメンバーは週1回、曜日を決めて13時から30分間集まり、課題を話し合い一つ一つ実行に移していった。

「11年から定期的に新卒採用を始め、7Sメンバーも皆、20歳前後と年齢が近く、



2

朝礼

1 毎日朝礼で唱和する「経営方針」と「見える7S活動」/ 2 毎朝8時半から朝礼で唱和や伝達事項などを確認/ 3 1か月ごとにテーマを決め、唱和する。今年10月のテーマは有害植物

経営方針

私達は、美味しく良い商品を作り、利益のある付加価値企業をめざします

見える7S活動

整理・整頓・清掃・清潔・美観・安全・衛生 をします

1



3



6



5



4



7



8



9

朝活～朝礼前の5分間清掃

4 自動真空包装機は10個ある真空ボックスを順にアルコール消毒液で拭き上げる/ 5 8台の計量器の隙間清掃。表面だけでなく、アジャスターなど分解できる部分は分解して汚れを取り除く/ 6 ベルトコンベヤの脚を清掃。機械に担当者名が明記されるようになり、責任感が生まれ、裏側や隙間など気づきにくい箇所も含めきれいにしなければならないという気持ちになったという/ 7 空調はフィルターを設置し、1週間に1回交換している/ 8 天井のパネルを1枚ずつ清掃する/ 9 壁は1mまでの高さを横2m清掃する。残さの付着や跳ね水によりカビが発生しやすいため、ブラシなども使ってこそげ落とす

会議を開く更衣室からはいつも楽しそうな笑い声が聞こえてきました。家と会社を往復するだけの日々の中で、7S活動が一種のクラブ活動のような息抜きの日々になった「クラブ活動のようなんです」(島路常務)

7S活動を始めてからコミュニケーションも活発化した。以前はメンバーが事務室に出入りすることはなかったが、7S活動でパソコンを使うためによく立ち寄るようになり、澤井専務や島路常務と会話を交わす機会も増え、風通しが良い職場に変わった。

13年には「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」(中小企業庁)の採択が決まり、1000万円の助成を受けた。設備を更新することができ、働きやすい環境も整備。これも7S活動を後押しすることになった。

「朝活」「昼活」「週活」で必ず汚れる場所を継続して清掃

ただ、7S活動を進めていく上で大きな壁となったのが、活動時間の確保。「食品企業は食の安全・安心が命。とはいえ、全ての箇所を常に清掃しようとする

と、肝心な生産活動ができず、会社として利益を出すことができない」(島路常務)のが実情だ。そこで、①効率よく②プライオリティーを付けて③継続できる方法で④やりがいを持って⑤「朝活」(朝礼前の5分間清掃)、「昼活」(共有場所の13時からの15分間清掃)、「週活」(毎週月曜日13時からの15分間清掃)をスタート。清掃の頻度を上げ、必ず汚れる場所を継続して清掃できる仕組みを作った。朝活と週活は社員が中心で、昼活は細かいところまで気が付くパート従業員が担当する形とした。ATP拭き取り検査も有効活用し、



中間清掃・終業時清掃

10 3階の調理工程で使用する蒸気を配管で2階にも送り、給湯システムで80℃以上のお湯を作り、予洗いや洗浄機などに使用する／11 作業台は中性洗剤で洗い、80℃以上のお湯を掛けて流し、水切りする／12 作業台のキャスターもピカピカに／13 2015年に導入した泡洗浄機により、飛躍的に洗浄度が上がった

月曜日の朝礼後、ランダムに5カ所を検査。科学的裏付けの下、清掃方法の検証を繰り返し行いながら進めた。次第に部署ごとに競争意識が芽生え、切磋琢磨することで工場内は着実にきれいになっていった。

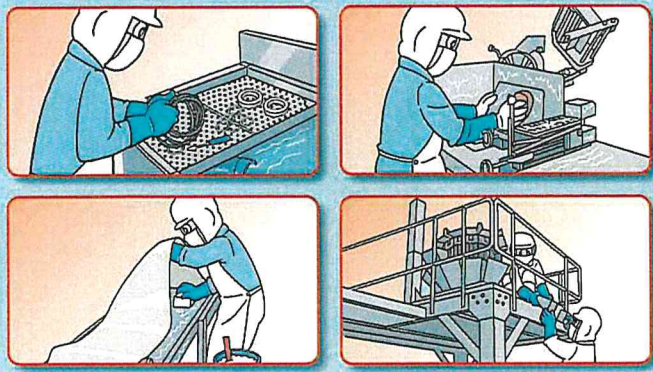
清掃場所も徐々に目に見える場所から見えづらい場所へと移り始めた。12年に導入した自動真空包装機については、手が届きにくい箇所があり、清掃に苦慮していた。そこで、15年に泡洗浄機を製造フロアごとに1台ずつ設置し、毎日分解洗浄を実施。その結果、飛躍的に洗浄度が上がった。

サニテーションはピケンテクノへ!!



洗浄の事は気にせずに、
生産に集中出来ます!!
生産量もUPします!!
残業も教育も軽減出来ます!!

当社へ業務委託する事で、生産に特化でき、
残業や事故、従業員の教育負担も軽減出来ます!!



疲れた... 帰りたい...
眠い...
従業員さんのこんな悩みを
解消いたします!!
まずはお気軽にお電話ください。

BIKENTECHNO
先端技術のピケンテクノ
☎ 0120-00-7892



定位置管理

14 文具などは手作りのボードで定位置・定数管理を行う／15 洗剤置き場。定位置管理ができるようになってから、予備の洗剤を置く場所も追加した／16 自動真空包装機の備品置き場を見える化

取引先から年15回の工場監査があり、以前は監査前に清掃を念入りに行っていたが、その必要性がなくなり、「いつ来ていただいてもきれいな状態を維持できるようにになりました」と澤井専務は胸を張る。取引先から褒められる機会が

増え、従業員のモチベーションも高まったという。

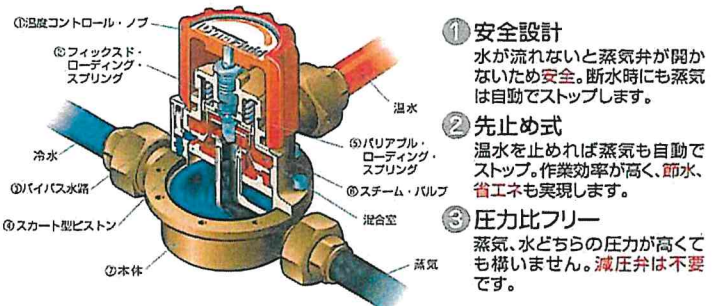
若手中心から 全員参加の活動へ

3年間継続しさまざまな成果を生んでいる7S活動だが、必ずしも順調に進んできたわけではない。当初、若手だけでスタートしたのはベテラン社員の抵抗があったためだった。実績を積み重ね、ようやくここに来て、本来の目的である全員参加による活動に踏み切ることができた。外国人技能実習生を除く全従業員を部署ごとに2〜3人に分け、小集団活動を展開。また、改善コンサルタントによる指導を受け、業務そのものの見直しにも着手した。

「お客さまからの指摘を一つ一つ改善していく、指摘されないように新しい試みをしよう」という積み重ねが結局、PDCAを回すことになったと思っています。ただ、7S活動は上からやれやれと言っても続きません。やらされ感を感じさせない仕掛けに加え、来年からは定時に帰れる体制づくりにも取り組んでいきたい」と島路常務は話す。

今後は7S活動を土台にHACCPの認証取得を目指す方針だが、衛生管理・品質管理のレベルアップは確実に取引先の信頼を高め、新規客の獲得に結び付き、業績が好調。この4年間は

工場内にスチームがあれば、簡単に温水が作れます 安全・省エネのミキシングバルブ



- ① 安全設計**
水が流れないと蒸気弁が開かないため安全。断水時にも蒸気は自動でストップします。
- ② 先止め式**
温水を止めれば蒸気も自動でストップ。作業効率が高く、節水、省エネも実現します。
- ③ 圧力比フリー**
蒸気、水どちらの圧力が高くても構いません。減圧弁は不要です。



節水、省エネのさらに強い味方 節水型スプレーガン(業務用)

水を流しっぱなしにいませんか？
先止め式ミキシングバルブに取り付けると
節水、省エネになるスプレーガンです。

- 床洗浄ではホースの先で開閉ができます。
- 肉厚カバーのため高温水を通して手も熱くなりません。

DynaFluid Steam & Water
ミキシングバルブ

新発売

ステンレス製(20Aのみ)
ニッケル加工品

DynaFluid 2000
Steam & Water Mixer

自動巻き取り式ホースリール
(アルミ製、フードプレート仕様)

DynaFluid 株式会社ダイナフルード

ダイナフルード 検索

〒651-2148 神戸市西区長畑町8-8
TEL:078-203-7738 FAX:078-220-3226
<http://www.dynafluid.co.jp>

増収増益を更新し続けている。会社の成長を支えているのが、11年から採用を開始した新卒の社員だ。7S活動のほか、毎朝の唱和や資格制度などを通

して力量を上げている。「若い人たちが生き生きと働く工場をずっと夢見ていましたが、それが今、現実のものとなってきました。これまで商品

開発については自信を持っていましたが、7S活動の継続で見せられる工場となり、工場にも自信を持つことができるようになりましたと澤井専務。7S活動は大

国フーズグループ内の他企業にも水平展開され始めており、グループ全体のレベルアップに貢献するという役割も果たしていく。



18



17

床ドライ化

17 調理などで使用した水はそのまま垂れ流しにせず、2カ所の穴を開けた手製のコンテナを通して排水溝に流し、床全体をぬらさないようにしている



19

ATP拭き取り検査

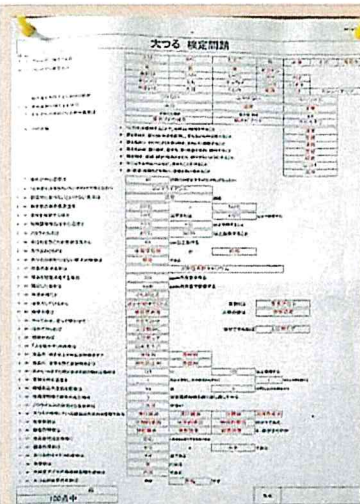
18 自動真空包装機のATP拭き取り検査。月曜日の朝礼後に5カ所を無作為で行う／19 ATP値の高い清掃箇所については、ATP値を明示し注意喚起を行っている

専務巡回

20 澤井専務が毎日全部署を回り、気になった点をその場で指摘するとともに、タブレット端末で撮影し情報の共有化を図っている



20



25

教育

25 全社員を対象に今年初めて実施した「大つる検定」。朝礼で唱和するテーマの中から問題を出題し、成績も発表した／26 資格取得者一覧。レベルや部署に応じて、だしソムリエ、食品表示診断士、惣菜管理士などの資格取得を社員に奨励している。受験料は会社負担で、高度な資格取得者には手当を付けている



22



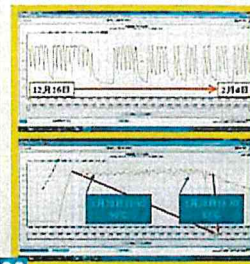
21

食の安全への取り組み

21 原材料は入荷日、開封日、使用期限、賞味期限を全て記載／22 冷蔵庫の温度などは決められた頻度で計測し記録に残す／23,24 チルド製品の場合は殺菌槽でポイル殺菌する。2カ所にデータロガーを設置し、均一に熱をかける環境を整えている

T&D おんどとりTR-7wf

24時間クラウドにてデータを管理しています



23



24



26